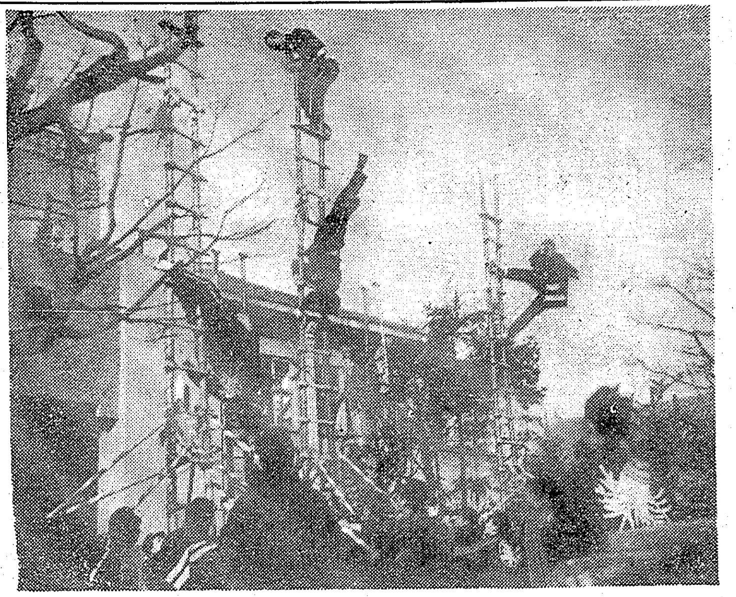
常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電（代表）2104番
2105番

割烹 大貞
平市田町
電話 本館 四九一八
別館 四九一七

天気予報

今晩、北西の風が強く晴時々曇り
明日、北西の風、晴時々曇り
海上、今晩風波高い。明日も風波あるが、後おさまる



梯子乗りの妙技披露

各地で多彩な出初式

【写真は平市役所前で梯子乗りの妙技を披露する太夫たち】

平市消防団統一後初の出初式がきよう六日挙行された。この日午前六時半から子鍬倉神社で無火災祈願を行つたあと七時半から三十米道路で閲団式があり、諸橋消防長菅野平署長、井上消防署長らの閲兵、八時から公会堂本館で永年勤続者などを表彰して梯子乗りに入つた。

梯子乗りはまづ市役所前から始まり、三つの梯子上で太夫たちが揃いのハツピで威勢よく〃エーヤー…〃のかけ声とともにエベ返りや逆立ちなどの妙技を披露、終つて市内で同様梯子乗りを行つた。また午後四時からは三十米道路でダルマ落しなどもあつて賑やかな出初式風景をかもし出していた。

勿来 市消防団の出初式は六日午前八時から植田小学校校庭で行つた。まず式辞のあと消防団長の挨拶、中隊編成による分列式を行つて表彰式に移り❶消防長が昭和三十四年に退職した正副分団長に対し感謝状を贈呈❷優良団員表彰❸永年勤続者表彰、次いで第二十分団員による放水試験（五色の放水並びに鈴割）を行つて閉会した。なおこの日表彰された者はつぎの通り。

▽感謝状＝古川 清 安島 定 斉藤一郎 渡辺一雄 山形精一 吉田春雄 芳賀之次 蛭田光之助 加茂水男 下山田幸次郎 鈴木寿 金山清一

▽優良団員表彰＝懸久 安島稔 金成正 小張 隆 櫛田伊予吉 大平元光 小野万寿 芳賀 章 園部宗吉 安島 泰 鈴木 登 阿部 栄 渡辺 登 高木定男 赤津亦一郎 引地良男

▽永年勤続者＝村上常勝 佐藤晃男 川尻東男 助川広 赤津一 大津得衛 星唯一 佐藤太一郎 古川清 山野辺太一 菅天目源一 平山次十 小野篤 遠藤忠光 小野一 渡辺善嗣 園部克己 園部弘明 鈴木卓郎 園部敬美 蛭田通 小張保 安島泰 渡辺勝好 大河内政夫 田子啓祐 志田重政 赤津正己

内郷 市消防団の初式は六日午前八時から内郷高校々庭に市内分団二百八十人の団員が参加して開かれ、矢坂神社で無火災祈願を行つたあと沼田消防長、小野消防団長のあいさつ、分団長の訓示があつた。なおこのあと自動車ポンプ五台を連ねて市内を巡回、第四分団と第二分団による恒例のハシゴ乗りが披露され、市民の喝采をあびた。

常磐 市消防団長出初式は六日午前八時から市内温泉神社境内に白石消防団長はじめ三百五十人の団員が参集して開かれた。無火災祈願を行つたあと磯野消防長白石団長から本年の消防について訓示があり、小井戸議長、近藤常磐署長などの来賓祝辞があつて散会した。

銘菓 大段羊羹 平 凡

県会土木委一行視察

地元出身の鈴木喜政、高萩邦男、坂本浅次郎、下山田勇の四議員を含む県会土木常任委員会（大久保俊夫委員長）一行は五日来平、午後から磐城市の江名港を調査した。

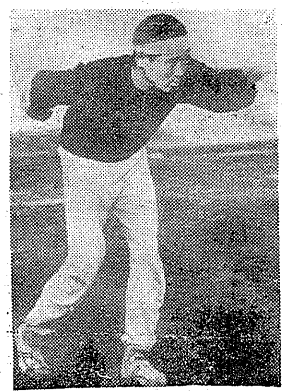
大峰支店長が勇退

磐城通運株式会社（平）小名浜支店長次長大谷敏太郎氏（五七）が勇退に伴い泉所長渡辺勝氏が小名浜支店長代理に、江名所長佐藤武雄氏が泉所長に、永崎所長吉田源氏は江名所長を兼務する。

ハイヤーを奪う

磐城 大破してのりすて

六日午前一時ごろ、磐城市横町小名浜タクシー＝運転手阿部光滋さん（二九）＝が、市内を空車で運転中、突然二十才前後の四、五人の男に車をとめられ、「すぐ帰るから車を貸せ」とおどかされた。貸した車は常磐市三函地内の路上にめちやめちやに壊されてあるのを通行人がみつけて常磐署に届けた。同署では阿部さんを呼んで状況を聞いているが、通りがかりの不良のしわざとみられるなお車は大破して損害は約三十万円の見込み。



【写真はマラソンの新星平工の渡辺行之選手】

常磐で山林焼く

四日午前十一時三十分ごろ常磐市上湯長谷字力石一一五小野田炭鉱職員住宅裏山から出火、発見が早かつたため雑木林など約二千八百平方米を焼いて間もなく消火した。損害十万円で原因は常磐署で調査中。

四倉で盗難事件ひん発

一日夜半から二日朝にかけて四倉町内で盗難事件が四件発生、背広上衣一点と現[illegible]千円が盗まれたと四倉警部補派出所に届けた。犯人はいづれも一人で、真夜中から朝方の二時ころをねらつての犯行と見て捜査しているが、同所では厳重な戸締りを要望している。盗難にあつた家庭は次の通り。

▽四倉駅前公務員、菊地能男さん（三四）では現金三千円を盗まれた。▽四倉町本町四倉郵便局員坂本美光さん（三五）方では背広上衣一着が盗まれた。▽四倉町本町運転手小野芳宜さん（三七）と同町本町輸送業上沢和二さん（三二）らはいづれも真夜中に賊が侵入したが家人に騒がれ何も取らずに逃走している。

騎馬武者市内パレード

常磐地区観光連盟では無形文化財として全国的に名の知れている「相馬野馬追」をあす七日来平、午前九時から騎馬武者が市内をパレードしたあと市公会堂で出陣からがいせんにいたる舞踊をはじめ相馬流れ山、剣舞などを披露する。

平ク、平商が勝つ

石城地区高体連、同バスケットボール協会主催の第一回新春交歓バスケットボール大会は二、三の二日間にわたり平商、平工の両会場で二十チームが参加して開かれ男子は平クラブ、女子は平商がそれぞれ初優勝した。成績次のとおり。

男子▽準決勝
平安クラブ 66―43 内郷ＯＢ
磐 商 71―68 磐高ＯＢ
▽決勝
平安クラブ 76―69 磐 商
女子▽決勝
平 商 46―25 磐 女

遠野の成人式 遠野町の成人式は一九〇名を招き十五日午前十時から上遠野小学校で行わ

松韻会は十日 磐城市松韻会の新年楽謡（謡曲）会は十日午前十時から小名浜新よね旅館で開く

余韻

岩戸景気で明けた1960年は「賃金の年」だという。「マスコミ景気」にうかれ出すととんだ泣つつらに終るような「ケ」もないではないが景気のよいのに越した事はないのだから新年早々イヤ味はいうまい。より多くの人々が「賃金の年」となりますよう心からお祈りしよう▼岩戸景気といえば廃止論やかましく、断頭台に立たされた感さえある平競輪が、お正月早々岩戸以来の売上げを記録した。フトコロ具合がよくなつてみると、これと言つて遊び場もない「一ちよう競輪でもやろうか」というのだろう。それがやがて悲劇に通ずるというかも知れない▼が、競輪即悲劇と結びつけることも考えものだ。競輪のトバク性を否定して保存しようなどと不心得を起す気はないが、お正月競輪にその例をとれば八割までがフトコロの「ゆとり」で楽しんでいる。いわば一種の娯楽である。一ヤマあてて家をたてようのくらを建てようのというのではない。スリルと感を楽しんで、幸い当れば帰りに仲間とパイ一やるのがオチである▼多くの人達は入場料を払つたと思えばスツてもともと、家庭騒動を起す程血道をあげる気心がわからないとおつしやる。もつとも競輪さえなければそんな悲劇も起らないのだろうが…楽しみもまたなくなる▼お正月早々すつかり競輪の肩を持つてしまつたようだが、とにかく世はあげて岩戸景気、賃金の年を謳歌している。生活にゆとりが出てくれば財布のヒモも自然とゆるんでくるは必然だ。アメリカでは国民がゼイタクをやめたら経済恐こうになるという。ゼイタクが国を支えるところまでゆかずとも。せめて月給二倍論でも実現したら「競輪」の見方も又変つてくるのではないか。

1960年のホープさん

ローマへの期待

郷土の誇るスポーツ・トリオ

明けて一九六〇年を迎えたスポーツ界はいままでになく活気と希望に満ちあふれている。重量挙日本チャンピオンの渡辺昌幸選手（名城大、平市出身）は、ことしのローマ・オリンピツクをめざし、また本県陸上界長距離のホープ、別府マラソン出場をねらう渡辺行之選手（平工二年）そして卓球界から期待されている高塩芳子・大内艶子（磐女二年生）はいずれも計画的なトレーニングに乗り出している。郷土石城が生んだこれら花形選手の活躍はスポーツファンがひとしく注目するところだが、昨年のめざましい活躍ぶりをみると、今年もまた地元民はもちろん全国民を熱狂させるような素晴らしい成績を残してくることだろう。各選手は昨年以上の飛躍を求めて期待に応えようと、暮も正月も返上しての練習にはげんでいるが、新しい年を迎えて意気あがる石城のスポーツ・トリオを追つてみよう。

長距離界の新星

マラソン 渡辺行之選手

白のトレーニングシャツに身を包んだ一団が走つてくる。これら選手はいずれも平工校陸上部の長距離選手でその中でひときわ目立つているのが渡辺行之選手である。渡辺選手は一月十五日行われる別府マラソン本県ロード・レースに備て寒波をついての猛練習である。

渡辺選手は好間桃木平、行村さん（五三）とトリ子さん（五〇）の間に姉妹の四番目として昭和十六年ここの声をあげた。好間中学校二年生の時校内運動会で千五百米競走で優勝、先生から陸上選手をやつたらどうかと進められて本格的に始めたもの。中学校駅伝では千五百米で優勝、県中体連には病気のために欠場の憂目に立たされた。しかし若く熱情に燃えてこれを挽回しようと連日練習を重ねて、高校一年の時、県総合体育大会五千米に出場したが、本県のホープ氏家、田子に負けはしたものの他の強豪をしりぞけ三位、さらに三十三年（一年生）十マイルロード・レースで三位に入賞して着々とその実力をあげはじめた。野木コーチ（平工教諭）の指導も激しく、ある時は尻をたたかれ、陰口をたたかれながらもくもくと練習を重ねて、連日調子を整えている。本社主催の石城一周駅伝競走ではホープの一人となつているが、三十四年五月の白坂杯二十五キロマラソンで強豪常磐炭砿の後藤を破つてから走ることに大きな自信をつけたということは、れん習の上においても大きなプラスとなつている。渡辺選手は「先輩の選手が多くいるだけにレースとなると非常に苦しい。しかし後藤さんをしりぞけたことに自分はこれ以上の力が出せるというファイトが沸いてきた」と陽焼けした顔で語つていた。

朝早く自宅付近で軽いトレーニングをして登校、そして午後三時ころから野木教諭のコーチでトレーニングを開始するわけだが、従来のれん習をかえ、スピードをつけるダイナミツク走法にすることに重点がおかれている。れん習方法をみると最初軽く走り調子が出てからスピードをつけるというオーバーデスタンス・トレーニング、ペース、スピード、耐久力をつけるインターバルを交互に行うという。これからのマラソンはスピードをつけてからマラソンに上つて来なくては駄目だ。スピードこそ〃近代マラソン〃の最大の条件であるということがメルボルンオリンピツクではつきり証明されたがスピードをつけたうえにハード・トレーニングで旺盛なスタミナをつける必要がある。この点渡辺は五千、一万と長距離を経験しているのでさほど心配はない。それでも野木コーチは「きれいな走法であるが、スピードがないということが弱点だ。このためスピードをつけることに重点をおき、鉄棒などで腕力をつけるなどしてダイナミツク走法となれば敵なしとなる。また昔の選手だが朝鮮の孫などの強さはニンニクカラシが大きく影響しているのでこれを食べるよう進めている」と語つている。渡辺自身も「先生の教えを守つてスピードをつけるれん習を重点的に行つている。

お家芸のチャンピオン

重量挙 渡辺昌幸選手

ドス黒い色をした木枯が吹きすさぶ年の瀬もおしせまつたある日「イチツ…、ニイツ…」という元気なかけ声が聞えてくる。平市高月にある磐高の重量挙クラブ室からである。古くくすんだ建物の練習場では、いまローマ・オリンピツクを目指す渡辺選手がグリーンに赤字で〃ジャパン〃と染めぬかれたユニフオームに身をつつんで玉のように流れでる汗をぬぐいながら練習に余念がない。この姿こそ重量挙へのひたむきな情熱で〃バーベルの鬼〃と化した渡辺選手なのだ。

現在名古屋の名城大四年生、アルバイトとスポーツを両立させているわけだが、学校さらに実家で文字通りの猛れん習をつづけている。暮も正月も返上してのこの日課は、世界チャンピオンの夢を描き、さらに負けずぎらいという勝気な性格と重量挙への情熱がなければ不可能な相談である同僚たちがジングルベルに浮かれながらパーティーやら映画やらと遊びまわり、着かざつてお正月を暮しているのにつねに新しいものを求めて進歩を目指しているのだ。人一倍れん習にはげむ彼の姿に誰一人として拍手を惜しまないだろう。

このように鬼といわれる渡辺選手の過去をふり返つてみよう。まず動機は、二十六年磐高二年生の時に、当時破竹の勢いで活躍していた鶴賀、神谷両兄弟、南部選手などに「立派な身体をしているが重量挙をやつてみないか……」と持ちかけられ、この道に足を踏み入れたのがそもそもの始りである。それからというものは毎日クラブ室に飛び込んで三時間から五時間、さらに帰宅後もバーベルに体当りするなど、もくもくとれん習に励んだ。この熱心なれん習が効を奏して二十七年、三年生のとき早くも神谷兄弟、白鳥らにまじつて第七回国民体育大会の出場権をにぎり、新鋭ながら三位に入賞した。その後毎回国体に出場して連続優勝、また県体にも十回出場して九回連続優勝の偉業をなしている。

こうした国内大会のほかに中共に日本スポーツ使節として派遣されたのをはじめ三十二年十一月イランのテヘラン市で開かれた世界兼アジア選手権大会では世界十位、アジア三位、さらに三十三年東京での第三回アジア大会ではヘビー・ライト級で四位に入賞、三十三年十一月の全日本選手権大会ではミドル・ヘビー級で日本初の総合四百キロという輝く日本新記録の金字塔を樹立して、一躍「世界の渡辺」としてその名を高めた。

現在渡辺選手は一九六〇年のローマ大会の候補者の中に名を連ねているが「私の目標はことしのローマ・オリンピツク大会です。お正月気分にひたつているヒマなどありません。今はもうれん習をたつぷりやり、ただ眠るだけ……」というれん習一本槍の毎日を送つている。

育ての親ともいうべき阿地平工教諭は「れん習態度も真面目で絶えず欠点の修正に努めている。何よりも試合にのぞんで最大限に自分の力を発揮できるのが強みだ。こんごますます記録は伸びるだろうローマ大会に必ず出場してほしい」と太鼓判を押している。進むべき道は遠くそしてけわしいが、彼を〃英雄〃視せずにれん習に専念できる環境を与えてローマ大会を期待しよう。

【写真は重量挙のホープ渡辺昌幸選手】

優良漁船を表彰

磐城市中ノ作漁協組

磐城市中之作漁業協同組合の三十四年度優良漁船並漁労長等の表彰祝式は四日午後一時から行つた。

▽漁船並漁労長❶第二吉成丸熊吉田金司漁労長川又勝治（七、八五七、四五九日）❷第三盛徳丸福崎武次郎福崎清秋（七、四三、四三〇日）❸第十有栄丸和深七郎津島敏（七、二七一、七九九日）

▽中型秋刀魚棒受網之部❶第二大伸丸中山英伸福崎巌雄（一〇、一八四が六二〇日）❷第一吉丸滝口俊夫、金成幸雄（九、八八五、二四七日）❸第十有栄丸和深七郎、津島敏（九、七三八、七三八日）

▽同大型之部❶第十金栄丸吉田藤勝吉田重一（一七、一九二、六八〇円）❷第十二朝運丸金成恒男会田泰三郎（一四、八八九、〇二九円）第十長栄丸吉田長一小林伸松（一二、一四〇、五八七円）

▽鮪延縄之部第十五朝運丸金成恒男、村上八郎（二四、六三四、六六九円）

▽母船式鮭鱒流網の部❶第八太幸丸太定雄福本道（二五、二六五、三一四円）❷第十二朝運丸金成恒男、会田泰三郎（二四、九二七、八七円）

▽自港年間水揚❶第十有栄丸和深七郎❷第十三稲荷丸作山富太❸第三盛徳丸福崎武次郎

▽旋網之部（廻船）❶有漁丸吉田有作❷宗福丸五戸清蔵❸白瀧丸菅野金吾

▽鮭鱒流網の部第十二吉長丸吉田金司大星広夫（三七、七五三、二二〇円）▽同延縄漁一丸佐藤勇佐藤洋（四、四〇四、三八二）

▽漁業功労者太定雄優良船員松枝実外八名▽海運商組合員の部丸中製氷冷凍KK外四名▽職員の部太正、斎藤芳子▽救護会賞吉田丈夫

新設開店につき急募
今般大丸サービスセンター内にお食事処玉半を新設し近く開店します
男子従業員 中華見習 洋食見習 喫茶見習 十名
女子従業員 購部 店員 十五名
詮衡 一月十一日午前十時 三田小路 玉半
履歴書持参のこと
お食事処 玉半
電五〇三一・五〇三三

食通が舌を巻く味
一度是非
電話一つで一里の出前
でんわ4431・4432
庵部
喜司
酒寿

昭和35年 謹賀新年 1960年

平労働基準監督署
平市堂根町四ノ一二

平商工会議所
会頭 山崎賢助
副会頭 坂本昌蔵
同 坂井清之助
専務理事 草野四郎
外職員一同

木村淳

松吉屋酒造店
松本金市郎

県会議員
馬目武之助

福島県会議員
副議長
小野義一
磐城市上明神町十九

平魚市場
専務取締役
鈴木幸平

鈴木正平

勿来市福祉事務所
所長 本多忠晃

勿来市社会福祉協議会
会長 山際理蔵

植田土木事務所
所長 奥山文雄

石城郡開拓農業協同組合
組合長 佐藤繁一
平市堂ノ前三

小野新旅館
渡辺栄咲
平市中央通り 電三三八四

人出も岩戸以来

平　賑わった正月三日

新春を迎えた正月三日間、平市に繰り出した人出は延べ三十万といわれ、昨年の岩戸景気の波に乗つて年越しした一九六〇年は好景気が反映して平市内だけでも二億五千万円に達する最高の売上げを記録した。平市の玄関平駅の調べでは延べ十万人が乗降、なかでも元日は二万八千九百七十八人が乗降、昨年の二万五千七百八十八人と比べ約三千二百人が増えており、切符の売上げもいままでにない六万八千円という平駅始つて以来の正月の記録を破つた。一方常磐交通が運んだ客は約二十五万人で正月三日間は平市内は人の波でごつた返しだつた。

【写真は人でうまる平駅ホーム】

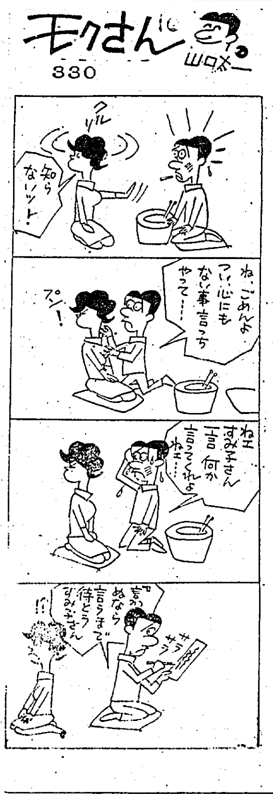
映画館は大入り

商店も三割売上げ増加

昨年の暮は〝岩戸景気〟の新語を生む景気上昇のまま新しい年を迎えてたが、石城五市の商都と自負する平市内の暮から新年にかけてはどうであつたか。平税務署がのぞいた正月景気によると映画、商店街とも全般的に伸びがみられたというご託宣である。

一番目立つた動きは映画興行で例年まで〝正月は邦画が強い〟という業界の定説が逆転して洋画ブームにわいたとくに聚楽館の「ワーロツク」、ひかり座の「エロデ大王」が首位争いを続ける人気。これに続くのは民劇の「宇宙大戦争」とみている。さらに大映のヒツト作として人気の高かつた世界館の「女経」も初日三日は相当の成績をあげたもよう。東映は第二いわきと共映したため予想を若干はずれ気味のようだつたが映画興行は全般的によく、とくに正月三日間は比較的好天に恵まれたため か出足は昨年を上回つたのではないかとみられている。

〝岩戸景気〟の反響の最も大きかつたのに衣類の売れゆきとみている。市内の銀行に入つた金額は暮だけで一億円をこし、さらに正月三日間では二億円をこしたのではないかとみられ、これらほとんどは商店の売上げ金で占めているといわれ、暮だけで昨年より二、三割の売上げ増をみせたものと税務署では踏んでいる。


モクさん
330
クル
知らないッ！
ね、ごめんよ　つい心にもない事言うちやつて…
プン！
ねエすみ子さん　一言何か言つてくれよネエ…
言わぬなら言うまで待とうすみ子さん
サラサラ

私は女房役

信長張りの器量人

磐城市　中田祐一郎

「私は市長の補佐役だが、市長に代つて確答はできない」と、これは昨年の十二月、総合職業訓練所候補地に内郷市堀坂地内と磐城市泉町地内の誘致合戦を調整するために開かれた五市長と同議会議長合同会議の席上、三代磐城市長代理として出席した中田助役の発言である。このときは他四市とも内郷市設置に踏み切ろうという空気が強かつただけに、中田助役は他四市と対立する格好で苦しい立場に立たされた。考えようによつては市長代理として出席したのなら市を代表して責任ある態度を明らかにするべきだという声もあり、内郷市に設置しようとする人たちから激しい言葉でいい寄られてケンカ別れになるのではと心配させた。

しかし、中田さんの言い分は「訓練所を誘致しようというのは、いくら市長代理であつても市長に相談しなければ代理の私が勝手に返答はできない」と突つぱね、結局はあらためて三代市長から回答することになつた。

政治的にはゼロだと中田さんを批難する人もいるが「助役としてどれほど政治力にたけても市長の補佐役はつとまらぬ、助役は助役なりに誠意をもつて市長の良き女房役でなければならぬ…」と弁護する人も多い。

このように書いてみると一体中田助役という男は、どんな男なのか。批判する人たちのいうように政治力が全然ないのだろうか、それともデクノボウなのか。それには〝人間中田〟を知らねばなるまい。

中田さんは旧江名町の旧家に生まれ最後の学校は逓信省講習所を卒業した。大正五年から江名郵便局に勤め、そして父のあとを引継いで局長となつた。その後局は長男に任せて町長選に打つて出、ライバルの近藤氏にかわつて町長になつた。そのころ旧小名浜町などと合併して磐城市が誕生すると同時に市助役として横すべり、現在に至つている。ザツとこんな経歴だが、見方によれば家柄から局長、そして町長、町長になり、市助役になつたということにもなるが、ただ幸運児とばかりとは言い切れないものがある。

古い話だが、織田信長が尾張の馬鹿殿といわれながらも今川義元を討ち、乱世を平定して英雄と呼ばれるようになつたのも運をつかむだけの器量と、素質があつたればこそである。中田さんにしてもやはりこういつたことがいえるわけだ。

議会では野党議員に尻をとられるようなことも少ないほうだし、例の〝駒忠事件〟にもひつかかつているが、こうした問題だけで彼を評価するのは早計のようだ。ただ政治的手腕がない…といわれることは常磐開発の中心地である磐城市としては大きな問題であるし、捨ておけぬだろうが、人の良過ぎるのと大物市長、三代さんの影にかくれているためではないかという人もある。

ともかくも、人の良過ぎることで損もしているが、庁内では職員にも親しまれており、昨年再任されたばかりでもあるから三代市政の女房役として大いに働いてもらいたいものだ。

【写真は中田助役】

難病克服の御相談には是非一度
佐々治療所
平市鷹匠町一九

【平市】
◉平館　八日迄　電四四三
六、〇五　聖女と拳銃
七、一〇　銀座のお兄ちゃん挑戦す
八、三五　仁侠五人男
◉平新東宝　八日迄　電三六九〇
七、〇一　金語楼の海軍大将
八、三三　東海道弥次喜多道中
◉世界館　八日迄　電三〇六八
七、一六　初春たぬき御殿
八、四四　女経
◉東映劇場　八日迄　電三〇六五
六、四〇　少年猿飛佐助
八、〇〇　雪之丞変化
◉三夜東映　八日迄　電三九六八
六、二六　遊星童子（二部）
七、一八　地獄の底までつき合うぜ
八、四五　新吾十番勝負（二部）
◉聚楽館　十一日迄　電二四六八
六、三〇　類猿人ターザン
八、一五　ワーロツク
◉ひかり座　十日迄　電三三六八
六、四〇　札束がすべて
八、三五　エロデ大王
【常磐市】
◉三函座　八日迄
銀座のお兄ちゃん挑戦す
浮かれ三度笠　初春たぬき御殿
◉湯本座　八日迄
共演お役者変化

三大女優が描く

〝女経〟秘められた女三様

世界館
上映中

物語＝〝ゴンドラ〟紀美の場合　紀美はキャバレー〝ゴンドラ〟につとめる女給だ。魅力的な笑顔とコケテイツシユな行動でおなじみのお客を次々につくる、天才的な手腕をもつている。お客にキスをさせている時でも、うつとりと幸福そうな顔をしながら、どうだましてお金をまき上げるかを考えているといつた女だ。隅田川の川上につき出たような長屋に住んでいる。大東機材の社長御曹子田畑正巳も彼女のお客の一人、スマートでハンサムな正巳は、世帯じみた男や見栄ばりでケチな常連客とはどこか違つた存在だつた。そんな正巳に紀美が次第にほんとうの好意を抱くようになつたのも、彼女の青春がまだゆがめられていないためだつた大東機材の株をせつせと買いだめしているのを正巳に内緒でおどかしたいという考えからだつた。

爪子の場合　黄昏れの海岸——ゆるく曲線を描いて起伏している砂丘で、女は涙の顔で手紙の束を燃やしていた。ノイローゼで失そう中の流行作家三原靖が、女に声をかけたのは確かに偶然だつた。女は土砂爪子といつた。靖はすすめられるままに、数奇屋造りで古風な爪子の家に立寄つた。夫が病死した事を語る爪子の姿には、淋しそうでいて、鋭い刃物のような雰囲気が感じられた。靖は爪子と共に風呂に入つた。爪子はそれが亡夫を想い出すたつた一つの手段であると語つた。爪子はこの家を売りたいともいつた。靖は簡単に、そして事務的に売買契約を結び、手付金として百万円を渡した。数日後、爪子を訪れた靖は、爪子の姿がなく、今後の手続きは〝大石土地建物不動産〟が代行するとの伝言だけが残されているのを知つて焦がくする。その頃〝大石土地建物不動産〟の店では、爪子が契れた手つきで手数料を受け取つていた。

〝旋家の〟お三津の場合　京都三条大橋のほとり、旅館旋家の女将お三津は商才にたけていることで、同業者間に定評があつた。お三津はかつて先斗町で三人組といわれたほどの売れつ子芸者だつた。その頃旋家の若主人に見染められ、いわば玉の輿として嫁いで来たのだつた数年後ぽつくりと死んだ夫のあとを次いで、旋家を修学旅行専門の宿屋にかえたのも、木屋町にバー〝チヤイカ〟を開いたのも、先斗町にお茶屋を出したのもみんなお三津の才感であり、それぞれうまく行つているのも彼女の気質に負うところが大きかつた。亡父の父親である五助がいい寄つて来たり、東京で洋裁を勉強している義妹の弓子が恋人との結婚話をもちかけてきても軽く受け流したり、男の恐しさを教えたりする才能を若い頃の経験でもつていた。

お姐ちゃん罷り通る
水戸黄門漫遊記

パンは開花亭

◉常磐日活　八日迄
オヤエの初恋先生
影なき男　黒猫は誰だ
◉常磐座　八日迄
少年猿飛佐助
鬼面の騎士　丹下佐膳

【勿来市】
◉菊多館　八日迄
万年太郎
謎の幽霊島
◉中央館　八日迄
にあんちゃん
明日の鉄道
もぐり医者

アヤ靴店

◉植田ロマンス　十一日迄
悪人くの貨物
やくざ特急
◉植田館　五日迄
お役者鮫
海流
愛と希望の街

質　山一
平市紅小路
電四七六四

NHK第1【今　晩】
6•00 子供の時間
40 各局別ローカル
7•15 録音ニュース
30 浪曲ドラマ
8•02 即興劇場
30 希望音楽会
9•00 今日のニュースから
35 人と話題
10•10 明日開く窓
35 歌は結ぶ
11•10 正月の女
40 スターズオブジヤズ

ラジオ福島
6•00 童話の時間
45 音楽の小箱
7•15 録音ニュース
30 歌謡百景男性対女性
8•00 素人物まねコンクール
30 演芸会落語
9•00 物まね勝抜き歌合戦
30 リズムシエーカー
10•05 連続浪曲
30 名流小歌集
11•00 銭形平次捕物百話
30 ピアノムード

【明　朝】

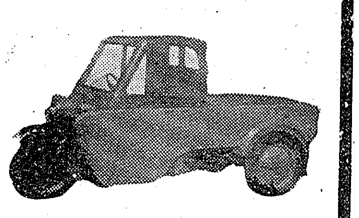
NHK第1
5•05 万葉の人々
45 あの雲こえて
6•15 村の広場
40 今年もラツパで早起き 7•20 県民の時間
40 朝の訪問
8•05 パリのアメリカ人
30 おはようトコちやん
9•10 主婦日記

ラジオ福島
5•05 朝の歌笑
30 農家の皆さんへ
6•15 ミユージツク
30 郷土の小さな物語
7•15 朝の童話
30 スーパーメロデイー
8•25 名店案内
55 フランキー占い
9•00 陽気な山彦さん
30 思い出のメロデイー

NHKテレビ【今　晩】
6•00 漫画映画
35 職場に生きる
7•15 バス通り裏
30 上方お笑い劇場
8•00 事件記者
30 希望音楽会

賀春

1960年はコニーで走りましよう

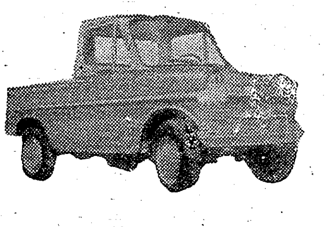


予約殺到中

コニー（軽三輪車）
現金正価 265、00円
堅牢で経済的

軽免許で
無車検

コニーは貴方のお店の
マスコツトです



コニー360（軽四輪車）
現金正価 339、000円
軽快 優美 乗用車の乗心地
◎セールマンス募集◎

チヤイアント号 ヤマハ号 福島県総代理店
福島チヤイアント株式会社平営業所
社長 関根一二　所長 館林喜一　TEL 4954

昭和３５年新春に贈る
現代洋畫大家展
とき　1月7日〜15日
ところ　サカモト画廊（平市一丁目）

クレパス画
魚と二人（猪熊弦一郎）　作品（小磯良平）
室内の女　バレリーナ（宮本三郎）
石狩川　風景　秋果　婦人像　裸婦（背）
読書　花（三岸節子）

油彩画
南仏キヤーニユー　裸婦　秋海棠　静物
建物（岡鹿之助）　白根残雪　霞沢上高地
桜と常念岳　洋酒といちご　阿蘇山

水彩画
青い帽子　少女　風景
埠頭　伊東海岸

共催　株式会社 坂本紙店
クレパス本舗 株式会社 桜商会

昭和３５年　謹賀新年　１９６０年

伊藤歯科医院
平市才槌小路一　電二、三四五

財団法人 松村病院
院長 松村亨
平市南町三　電二、一六一

鈴木歯科医院
鈴木与一郎
平市南町　電二、四七八

明雲堂眼科医院
新妻幸男
平市田町　電二、六六九

堀薬局
平市三丁目　電二、三三六

坂本紙店
平市一丁目 TEL4321−2

五条優美
磐城市諏訪町二一の四　電二、〇五九

大竹酒造場
石城郡三和村中三坂　電八ノ（甲）

鈴木助産所
平市並木通り　電二七八八

小名浜運送株式会社
専務取締役 高橋幹夫
磐城市字[illegible]一六九ノ五　電（代表）二、一〇六

福島県鰹鮪漁業協同組合
組合長理事 佐藤鶴松

小名浜機船底曳網漁業協同組合
組合長 田中藤太郎

磐城市職場野球協会長
同 体育協会長
志賀要平

羽幌炭礦鉄道株式会社
三松採炭所
所長 坂木三郎

株式会社 中山組
社長 中山みよ
勿来市小川町　電（勿）一四五

赤津建設砂利部
赤津馬次郎
勿来市植田町本町　電一三八、二〇八

勿来市建設業
親和会
会員一同

勿来材友会（製材共同出荷）
勿来木工製材株式会社
川部製材有限会社
荒川製材所
斉藤製材所
小野製材所
小松製材所
安島製材所

ハト
第一娯楽館
平会館
アサヒ
ひばり
横綱
大番
センターゲーム
王将
平遊技場組合

水庭塗装工業所
水庭寅夫
平市正月町六一　電二、八七二

全日本看板広告美術組合連合会員
福島県広告美術看板協会員
サカイ看板店
酒井貢
平市鍛冶町五　電三、九〇九

全日本看板広告美術組合連合会員
福島県広告美術看板協会員
コマツ看板店
平市田町並木通り　電三、三四七

株式会社 平魚市場
社長 志賀盛栄
平市四丁目　電（平）三、一五八
〃〃三、一五九